# 提案書様式

（様式1）提案書表紙

（様式2）提案書【基本情報】

（様式3）提案書【技術・システム革新シナリオ構想】

（様式4）提案書【研究開発計画】

（様式5）提案書【資金計画】

（様式6）提案書【領域統括データ】

（様式7）提案書【民間企業に関する情報】

（様式8）提案書【他事業の受給・申請状況】

（様式9）提案書【特許リスト・論文リスト】

（様式10）提案書【倫理面への配慮】

（様式11）提案書【特殊用語等の説明】

※Wordに記載のフォントは、「ＭＳゴシックの10.5ポイント」としてください。

※提出時には、青字による注釈及び例示はすべて削除してから提出してください。

## （様式1）提案書表紙

平成30年○月○日

国立研究開発法人科学技術振興機構

理事長　　濵口　道成　　殿

公印

（幹事機関）

（代表者名）

公印

（企業名1）

（代表者名）

※必要に応じて、機関名記載欄・公印枠を追加してください。

※提案概要は、e-Radの申請画面（「研究目的」、「研究概要」）へ、このまま転記してください。

※原則として、押印版をPDF化にし、提出期限までにe-Radにて提出してください。押印版原本については、幹事機関にて保管してください。

なお、提出期限まで全ての参画機関の押印が困難な場合は、早めにJST共創プラットフォーム担当に相談して下さい。

公印

（企業名2）

（代表者名）

公印

（企業名3）

（代表者名）

研究成果展開事業　産学共創プラットフォーム共同研究推進プログラム

共創プラットフォーム育成型　提案書

（幹事機関名）、（企業名1）、（企業名2）、及び（企業名3）では、研究成果展開事業産学共創プラットフォーム共同研究推進プログラム共創プラットフォーム育成型の公募に対して、下記の通り申請するものであり、ここに書類を添えて提出いたします。

記

研究領域名：

提案概要：

※提案する研究領域による研究開発内容全体がわかるように300字以内でまとめてください。

※図、表の使用は不可です。

※採択された場合には、本内容を公開することがありますので、留意して記載してください。

## （様式2）提案書【基本情報】

**基本情報**

※提案書は、公募要領に基づき作成してください。

※e-Rad提出時には、青字による注釈及び例示はすべて削除してから提出してください。

※Wordに記載のフォントサイズは10.5ポイントとしてください。

|  |  |
| --- | --- |
| **研究領域名称**（50文字以内） | ○○○を目指した□□の解明と○○を生産するための基盤技術の創出　※研究領域として達成目標を示す名称としてください。 |

**○提案者**

**1．幹事機関**

|  |  |
| --- | --- |
| 機関名称 |  |
| e-Rad研究機関ｺｰﾄﾞ |  |
| 代表者　職名・氏名 | 学長　○○　○○ |
| 領域統括 | ﾌﾘｶﾞﾅ |  |
| 氏名 |  |
| e-Rad研究者番号 |  |
| 所属・役職 |  |
| 住所 | ※所属先の所在地 |
| 電話番号 |  |
| 電子ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ |  |
| プロジェクト担当組織 | 組織名称 | ※共創コンソーシアムの活動を幹事機関として主体的に支援する組織を記載してください。 |
| 組織責任者 氏名 | ※上記組織の責任者氏名 |
| 所属・役職 | ※上記組織責任者の所属・役職 |
| 住所 | ※上記組織の所在地 |
| 事務担当者 | 氏名 |  |
| 所属・役職 |  |
| 住所 | ※所属先の所在地 |
| 電話番号 |  |
| 電子ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ |  |

※幹事機関以外の大学等が参画されない場合は、「参画なし」と記載してください。

**2．大学等**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 1 | 機関名称 |  |
| 代表者　職名・氏名 |  |
| 研究開発責任者 | 氏名 |  |
| 所属・役職 |  |
| 2 | 機関名称 |  |
| 代表者　職名・氏名 |  |
| 研究開発責任者 | 氏名 |  |
| 所属・役職 |  |
| 3 | 機関名称 |  |
| 代表者　職名・氏名 |  |
| 研究開発責任者 | 氏名 |  |
| 所属・役職 |  |

※　必要に応じて表を増減してください。

**3．民間企業**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 1 | 機関名称 |  |
| 代表者　職名・氏名 |  |
| 実施責任者 | 氏名 | ※本プロジェクトを担当する責任者氏名 |
| 所属・役職 | ※上記責任者の所属・役職 |
| 2 | 機関名称 |  |
| 代表者　職名・氏名 |  |
| 実施責任者 | 氏名 |  |
| 所属・役職 |  |
| 3 | 機関名称 |  |
| 代表者　職名・氏名 |  |
| 実施責任者 | 氏名 |  |
| 所属・役職 |  |
| 4 | 機関名称 |  |
| 代表者　職名・氏名 |  |
| 実施責任者 | 氏名 |  |
| 所属・役職 |  |
| 5 | 機関名称 |  |
| 代表者　職名・氏名 |  |
| 実施責任者 | 氏名 |  |
| 所属・役職 |  |

※　必要に応じて表を増減してください。

**○クロスアポイントメント制度を用いた研究者・参画機関**

※　クロスアポイントメント制度を使って幹事機関又は大学等に所属して研究開発する場合には、該当者の氏名、プロジェクトでの所属機関・部署・役職と、プロジェクトとは別の所属機関・部署・役職を記載してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 氏名 | プロジェクトでの所属機関・部署・役職 | 別の所属機関・部署・役職 |
| 氏氏　名名 | ○○大学　工学部　准教授 | □□研究機構　主任研究員 |
|  |  |  |

※　必要に応じて行を増減してください。

**○予定の機関**

※　提出時に調整中の大学等や民間企業がある場合には以下のように記載してください。

**大学等：**

※　機関名称、学部等組織名称、責任者氏名・役職を記載してください。

○○大学　○○学部　教授　○○　○○

□□研究所　□□部門　部門長　□□　□□

**民間企業：**

※　機関名称を記載してください。機関名称を記載できない場合は、「電機メーカーＡ」や「食品系会社Ｂ」などでも結構です。

株式会社○○

□□株式会社

　　　電機メーカーＡ

## （様式3）提案書【技術・システム革新シナリオ構想】

**技術・システム革新シナリオ構想**

**1．研究領域概要**

|  |  |
| --- | --- |
| **研究領域名称** |  |
| **領域統括（PL）****Project Leader** | 氏氏　名名　　○○大学　○○研究科　教授 |
| **共創コンソーシアム名称** | ※研究領域を連想させる名称としてください。（20文字以内）想定：（研究領域名称の略称）共創コンソーシアム |
| **実施期間** | 平成30年度開始　～　平成36年3月末日　終了予定　（FSフェーズ＋本格実施フェーズ、プロジェクト最長は6年度） |
| **研究開発資金****（間接経費含む）** | （単位：百万円）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | FSフェーズ | FSフェーズ＋本格実施フェーズ |
| 平成30年度 | 平成31年度 | 計6年度 |
| （JST） | 研究開発費 | 0,000 | 0,000 | 0,000 |
| 調査推進費 | 0,000 | 0,000 | 0,000 |
| 委託研究開発費合計 | 0,000 | 0,000 | 0,000 |
| （民間） | 共同研究費 | 0,000 | 0,000 | 0,000 |
| リソース提供 | 0,000 | 0,000 | 0,000 |
| 民間資金総額 | 0,000 | 0,000 | 0,000 |
| 総　　額 | 0,000 | 0,000 | 0,000 |

※民間資金については提案時の予定としてください。※JSTからの委託費合計は、FSフェーズでは、最大30百万円/年度、本格実施フェーズでは最大170百万円/年度で、6年度の合計は最大740百万円になります。※間接経費を含みます。 |
| **幹事機関** | ○○大学 |
| **大学等** | ○○大学、国立研究開発法人○○研究所、○○高等専門学校※参画がない場合は、「参画なし」と記載してください。 |
| **民間企業** | 株式会社AA、株式会社BB、CC株式会社 |
| **提案概要** | ※提案書表紙（様式1）に記載の提案概要と同一の内容としてください。 |

**2．社会実装を目指す新たな価値の設定**

※　経済的・社会的変動要因を踏まえ、社会システム・産業構造に大きな変革をもたらし、市場の開拓を行い得る新たな価値について設定してください。

※　日本再興戦略が掲げるGDP600兆円達成への貢献という観点から、提案するシナリオが新たな基幹産業の育成につながることが期待できる理由について、参画する民間企業や産業界一般などの見方を含め具体的に記載してください。

※　人文・社会科学の知見も積極的に取り入れるなど大学等の知見を結集していただき、民間企業と共同で作成してください。

※　新たな価値は、プロジェクト終了後から、いつ頃を目途に、どのような社会システムや産業構造にどのような変革をもたらすのか、今までに無いどのような価値（経済的な価値、社会的な価値）が創出されるのか、現状と比較し、可能な限り定量的に記載してください。

※　提案時においてシナリオの検討が不足していると考えられる点や、シナリオの最適化に向け、FSフェーズにおいてどのような取組む予定であるか記載してください。

（図表を含めて2ページ以内を目安として下さい）

**3．研究領域の設定及びキーテクノロジーの特定**

※　世界的な技術・ビジネスの動向、関連業界の技術戦略の分析等通して、新たな価値の創出の実現に不可欠なキーテクノロジーをについて記載してください。

※　キーテクノロジーを実現するために本プロジェクトで取り組む研究領域（研究開発課題の編成）を設定してください。

※　民間企業と大学等の共同による企画・提案をお願いします。

（1）研究領域構成図

※　新たな価値の概要、キーテクノロジー及びキーテクノロジーを実現するために本プロジェクトで取り組む研究領域（研究開発課題群）を含めた構成図を作成してください。（1ページ以内）e-Radでは別途【様式3（別紙）】（※パワーポイント形式）として提出してください。



（2）キーテクノロジー

※　キーテクノロジー毎に2ページ以内で作成してください。

研究開発課題の詳細は、【様式4】研究開発計画に記載してください。

**①キーテクノロジー1：○○○○の確立**

・目標

　**※プロジェクト全体6年度の目標を記載してください。**

※キーテクノロジーの内容と実現を目指す具体的な目標及び実現する時期について、可能な範囲で記載してください。

・特徴

※上記目標と、国内外の研究開発動向・ビジネス動向、関連業界の技術戦略及び競合技術・従来技術と比較した優位性・新規性・独創性について、可能な範囲で示してください。

・新たな価値への寄与と産業界からの期待

※新たな価値の創出へ、このキーテクノロジーがどのように寄与するのか、何を実現するのに不可欠であるのか、社会システムや産業構造の変革に寄与する内容について、参画する民間企業の期待とともに、簡潔に記載してください。

・技術的課題

※上記目標を達成するために解決すべき技術的課題について記載してください。

・実現の妨げと成り得る規制・制度面の障壁

※技術的課題の他、実現の妨げと成り得る規制・制度面の障壁があれば記載してください。

**□　技術的課題を解決するための研究開発課題1：○○**

・研究開発代表者：氏氏　名名（○○大学　○○研究科　教授）

・共同研究機関　：○○大学、AA（株）、BB（株）、（株）CC

※詳細は、【様式4】研究開発計画に記載してください。

**□　技術的課題を解決するための研究開発課題2：○○**

※複数ある場合には追加してください。

**②キーテクノロジー2：○○○○の精製**

・目標

・特徴

・新たな価値への寄与

・技術的課題

・実現の妨げと成り得る規制・制度面の障壁

**□　技術的課題を解決するための研究開発課題3：○○**

・研究開発代表者：

・共同研究機関：

**□　技術的課題を解決するための研究開発課題4（調整中）：○○**

※　調整中の研究開発課題についても、可能な範囲で記載してください。

※　機関名称を記載できない場合は、「電機メーカーＡ」や「食品系会社Ｂ」などでも結構です。

※　キーテクノロジーの数に応じて追加してください。

**4．共創コンソーシアム**

（1）共創コンソーシアムの体制

※　幹事機関のプロジェクト担当組織・主な協力組織、主な運営部門、参画する大学等・民間企業名称と研究開発に携わる部門及び責任者名、委員会組織等とその役割を記載してください。

体制図は、e-Radでは別途【様式3（別紙）】として提出してください。

※　本体制は提案時の構想であり、実施期間中の変更は適宜可能です。

（例）



○○協議会

・○○のための委員会

・○○が参加

研究戦略部門

・○○を実施

・

知財戦略部門

・

・

人材育成部門

・

・

**【活動状況の共有の仕組みについての方針】**

※　会議体の定期開催、グループウェアの利用等、共創コンソーシアムの活動状況を参画機関の間で共有する仕組みについての計画を記載してください。

※　以下、（2）～（6）について5ページ以内で記載してください。

※　「産学官連携による共同研究強化のためのガイドライン」（以下、ガイドラインという。）【http://www.mext.go.jp/b\_menu/houdou/28/12/1380114.htm】の内容を踏まえて、**FSフェーズ終了時までの目標及びプロジェクト全体6年度の目標**をそれぞれの項目に記載してください。

※　いずれも、実施期間中に適宜変更可能です。

（2）産学共同研究における費用負担の適正化・管理業務の高度化

※　本プログラムに参画する民間企業に対する具体的な費用負担の計画（教員及び学生等の人件費の算定方法や間接経費を含めた共同研究に必要となる経費の算定方法を含む。）について記載してください。

（3）共創コンソーシアムにおける知的財産の取扱いルールの方針

※　ガイドライン「３．（３）（３－１）知的財産の活用に向けたマネジメント強化」に基づき、非競争領域・競争領域の研究開発特性を踏まえ、民間企業が参画することへの価値を提供できる知的財産の取扱いルールを策定してください。なお、提案時には、以下の事項を踏まえ、参画機関間で共有されている実施方針について記載してください。

・プロジェクト実施期間中の取扱い方針

・プロジェクト終了後の取扱い方針

（例）

* + - フォアグラウンドIP（プロジェクトの実施により得られた知的財産権）の共創コンソーシアム内での無償を含む低廉実施又は期間や範囲を定めた優先実施等のルール
		- 不実施補償を求めないことを含む共有特許の柔軟性ある取扱いルール
		- バックグラウンドIP（プロジェクト開始前から保有していた知的財産権及びプロジェクト開始後に本プロジェクトとは関係なく取得した知的財産権）の本プロジェクトでの研究開発の推進を目的とした範囲における、プロジェクト期間中の無償実施等のルール
		- 特許の帰属先（幹事機関への集約か参画企業との共有か等）と、それに応じたライセンス方法や、関連経費の負担方法についての選択肢
		- 基本特許およびそれを中心とする特許群ごとに、展開先分野を切り分けてライセンスをする等の仕組み
		- 共創コンソーシアムに参画する大学等の知的財産ポリシーの統一化と、各大学等自身の知的財産ポリシーとの整合性の確保

（4）人材育成についての方針

※　学生を含む若手が主体性をもって研究開発に参画し、学術論文の発表を可能とする産学共同のルール、営業秘密管理や知財管理における学生の研究者としての扱い、優秀な学生等の参画を促すためのインセンティブ（格別な経済的報酬等）等の構想

※　参画した学生の就職先の自由度を確保する仕組み　等

※　学位論文の作成・発表を可能とするなど、学位プログラムと連動した人材育成システム構築の構想を提案する場合は、その内容を記載してください。また、文部科学省の卓越大学院プログラムとの連携を予定している場合は、その連携の概要についても記載してください。

　上記の提案をする場合は、学位論文の作成・発表を可能とすることを示す根拠資料（共創コンソーシアム規約、大学等と民間企業との合意文書、人材育成システムの構築に時間がかかる場合はその計画書等）を、プロジェクト開始後3ヶ月以内を目処に、そのコピーをJSTに提出していただきます。提出していただいたコピーはJST内で管理し、非公開とします。

（5）機関連携・協力体制についての方針

※　参画する大学等及び民間企業による組織横断的なチーム編成を可能とするクロスアポイントメント制度導入の有無やその概要、人材交流の仕組み等

※　機器・施設の利用計画・共用計画等

（6）参画機関の管理方針

※　新たな民間企業及び大学等をプロジェクトに呼び込むためのプロモーション活動及び参画機関の中途脱退を想定した参画機関の管理方針を記載して下さい。

**5．プロジェクト全体（6年度）の終了後における取組について**

※　プロジェクト全体（6年度）の終了後に、研究領域・共創コンソーシアムをもとにして、新たな基幹産業の育成を引き続き図るための自律的で持続的な研究開発環境・研究開発体制・人材育成システムを持つプラットフォームの成長に向けた取組、キーテクノロジーの実現を目指す計画及びキーテクノロジーを新たな価値として社会実装する見通しについて記載してください。（図表を含めて2ページ程度）

※　実施期間中は、適宜変更可能です。

**6．大学の運営方針と本プログラムとの整合性**

※　研究領域・共創コンソーシアムの実現可能性や継続性を精査する観点から、本プログラムへの提案が、幹事機関となる大学の中長期的な構想においてどの様に位置付けられているのかを記載してください。

※　提案内容が大学の中長期的な構想と整合性がある場合は、本プログラムの政策効果が高まる可能性を加味して積極的に考慮いたします。

**7．参加者リストA**

※　領域統括、共創コンソーシアム担当（部門責任者レベル）、研究開発責任者、研究開発課題代表者、企業責任者（当該企業の本プロジェクトにおける共同研究の責任者）について記載してください。

※　シナリオ作成に参画する人文・社会科学に係る研究者は、こちらに記載してください。

※　なお、研究開発課題を担当する研究者は「（様式4）研究開発計画」参加者リストBに記載してください。

※　幹事機関以外の大学等の参画がない場合は、該当行を削除してください。

|  |  |
| --- | --- |
| **区分** | **機関名** |
| **氏名** | **部署　役職** | **プロジェクトでの役割** | **エフォート※** |
| **幹事機関** | **○○大学** |
| 氏氏　名名 | ○○研究科　教授 | 領域統括 | ○％ |
| ○○　○○ |  | 共創コンソーシアム知財戦略リーダー | ○％ |
|  |  | 共創コンソーシアム研究戦略リーダー | ○％ |
|  |  | 共創コンソーシアム人材育成リーダー | ○％ |
|  |  | 研究開発課題1代表者 | ○％ |
| □□　□□ | ○○学部　教授 | 研究開発課題2代表者 | ○％ |
|  |  | 研究開発課題3代表者 | ○％ |
|  |  | 研究開発課題4代表者 | ○％ |
| **大学等** | **□□□大学** |
| 氏氏　名名 | ○○研究科　教授 | 研究開発責任者研究開発課題5代表者【クロスアポイントメント等】 | ○％ |
| **民間企業** | **株式会社AA** |
|  | ○○研究所　所長 | 企業責任者 | ○％ |
| **民間企業** | **株式会社BB** |
|  |  | 企業責任者 | ○％ |
| **民間企業** | **CC株式会社** |
|  |  | 企業責任者 | ○％ |

※　「エフォート」は、当該研究者の「全仕事時間に対する当該研究の実施に必要とする時間の配分割合」となります。なお、この「全仕事時間」には、研究活動にかかる時間のみならず、教育活動や管理業務等にかかる時間が含まれます。

※　クロスアポイントメント制度等を用いた参加者は、そのことが分かるよう、「プロジェクトでの役割」欄に【クロスアポイントメント】等と記載してください。

## （様式4）提案書【研究開発計画】

**研究開発計画**

※（様式3）の研究開発課題について、具体的な研究開発内容を記載してください。

※調整中である項目がある場合には、該当する欄に（調整中）と追記してください。

**Ⅰ　研究開発の内容**

**1．研究開発課題1**

（1）基本情報

|  |  |
| --- | --- |
| **キーテクノロジー** |  |
| **課題名称** | ●●● |
| **課題代表者** | 氏氏　名名○○大学　○○研究科　教授 |
| **実施期間** | 平成30年○月～平成○年○月 |
| **共同研究機関** | ○○研究所、（株）AA、（株）BB（調整中）、電機メーカーＡ（調整中） |

|  |  |
| --- | --- |
|  | FSフェーズ |
| 内容　 　　　　年度 | 平成30年度 | 平成31年度 |
| 民間資金※ | 000,000 | 000,000 |
| マッチングファンド申請額（JST研究開発費※） | 000,000 | 000,000 |
| 合計（X+Y） | 000,000 | 000,000 |

※　間接経費を含む

（2）プロジェクト全体（6年度）の終了時に達成すべき目標

※　キーテクノロジーの技術的課題を解決するため、本研究開発課題がプロジェクト終了時に達成すべき具体的な目標を定めてください。

（3）目標の新規性と優位性

※　国内外の研究開発動向や競合技術・従来技術と比較した新規性・優位性について簡潔に記載してください。（ベンチマーク）

（4）具体的な課題解決策

※　具体的な研究開発内容について記載してください。

※　ベンチマークの結果として、解決すべき課題がある場合には、その点を具体的に記載してください。

※　研究開発の新しい方法論（たとえば、分野融合、技術統合、システム化、ICT 活用など）がある場合は具体的に記載してください。

※　複数の機関で担当する場合は、それぞれが実施する研究開発分担内容を**簡潔に記載**してください。

①　プロジェクト全体（6年度）の研究開発内容

（課題1-1）○○大学

●●●・・・・・

（課題1-2）○○研究所

●●●・・・・・

（課題1-3）（株）AA

●●●・・・・・

（課題1-4）（株）BB

●●●・・・・・

②　FSフェーズ終了時までの研究開発内容及び達成すべき目標

（課題1-1）○○大学

●●●・・・・・

（5）参加者リストB

※　研究開発に参加する研究者について記載してください。ポスドク、学生等未定の場合は、想定人数を記載してください。

|  |  |
| --- | --- |
| **区分** | **機関名** |
| **氏名** | **部署　役職** | **プロジェクトでの役割** | **エフォート※** |
| **大学等** | **○○大学** |
| 氏氏　名名 | ○○研究科　教授 | 研究開発課題1代表者 | ○％ |
| ○○　○○ | ○○センター　准教授 | 【クロスアポイントメント等】 | ○％ |
| ポスドク | 2名予定（○月頃） | 【民間資金】 | ○％ |
| 学生 | 博士課程　1名予定（○月頃） | 【民間資金】 | ○％ |
| **大学等** | **○○研究所** |
| 氏氏　名名 | ○○部門　研究員 | 研究開発責任者 | ○％ |
| **民間企業** | **株式会社AA** |
|  | ○○研究所　所長 | 企業責任者 | ○％ |
|  |  |  |  |
| **民間企業** | **株式会社BB** |
|  |  | 企業責任者 | ○％ |

※　「エフォート」は、当該研究者の「全仕事時間に対する当該研究の実施に必要とする時間の配分割合」となります。なお、この「全仕事時間」には、研究活動にかかる時間のみならず、教育活動や管理業務等にかかる時間が含まれます。

※　【民間資金】による雇用者は、「プロジェクトでの役割」欄に、【民間資金】と、記載してください。

※　クロスアポイントメント制度等を用いた参加者は、「プロジェクトでの役割」欄に、【クロスアポイントメント等】と、記載してください。

**2．研究開発課題2**

（1）基本情報

|  |  |
| --- | --- |
| **キーテクノロジー** |  |
| **課題名称** | ●●● |
| **課題代表者** | 氏氏　名名○○大学　○○研究科　教授 |
| **実施期間** | 平成30年○月～平成○年○月 |
| **共同研究機関** | ○○研究所、（株）AA、（株）BB、IT系企業（調整中） |

|  |  |
| --- | --- |
|  | FSフェーズ |
| 内容　 　　 　　年度 | 平成30年度 | 平成31年度 |
| 民間資金※ | 000,000 | 000,000 |
| マッチングファンド申請額（JST研究開発費※） | 000,000 | 000,000 |
| 合計（X+Y） | 000,000 | 000,000 |

※　間接経費を含む

（2）プロジェクト終了時に達成すべき目標

※　キーテクノロジーの技術的課題を解決するため、本研究開発課題がプロジェクト終了時に達成すべき具体的な目標を定めてください。

（3）目標の新規性と優位性

※　国内外の研究開発動向や競合技術・従来技術と比較した新規性・優位性について簡潔に記載してください。（ベンチマーク）

（4）具体的な課題解決策

※　具体的な研究開発内容について記載してください。

※　ベンチマークの結果として、解決すべき課題がある場合には、その点を具体的に記載してください。

※　研究開発の新しい方法論（たとえば、分野融合、技術統合、システム化、ICT 活用など）がある場合は具体的に記載してください。

※　複数の機関で担当する場合は、それぞれが実施する研究開発内容を**簡潔に記載**してください。

①　プロジェクト全体（6年度）の研究開発内容

（課題2-1）○○大学

●●●・・・・・

（課題2-2）（株）AA

●●●・・・・・

（課題2-3）（株）BB

●●●・・・・・

②　FSフェーズ終了時までの研究開発内容及び達成すべき目標

（課題1-1）○○大学

●●●・・・・・

（5）参加者リストB

**3．研究開発課題3**

※　研究開発課題（3件以上）に応じて項目を追加して、同様に記載してください。

**4．研究開発課題4（調整中）**

※調整中の研究開発課題がある場合は、可能な範囲で追記してください。

その際に研究開発の予定期間及び予定金額を可能な範囲で記載してください。

**Ⅱ　研究開発予定表**

**1．研究開発実施予定表**

**◆MS3-3**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **研究開発課題** | **課題の目標** | **担当機関** | **H30****（2018）** | **H31****（2019）** | **H32****（2020）** | **H33****（2021）** | **H34****（2022）** | **H35****(2023)** |
| 課題1●●● | 各研究開発課題の（2）プロジェクト終了時に達成すべき目標の内容を簡潔に記載してください。 | ○○大学○○研究所（株）AA（株）BB |  | **◆MS1-1** |  |  |  | **◆MS1-2** |
| 課題2●●● |  | ○○大学（株）AA（株）BB |  |  | **◆MS2-1** |  | **◆MS2-2** |  |
| 課題3●●● |  | ○○大学（株）AA（株）BB |  | **◆MS3-1** |  |  | **◆MS3-2** |  |
| ･･･ |  |  |  |  |  |  |  |  |

※　マイルストーン（MS1-1、MS1-2、・・・）

・研究開発課題毎に1箇所以上は設定してください。

・課題別に時系列順でMS1、MS1-2、・・・としてください。

**2．マイルストーンの内容**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 課題番号 | MS番号 | 達成時期 | 内容 |
| 課題1 | MS1-1 | H31　2Q | ○○条件下において△△の値を□□以上とする。 |
| 課題1 | MS1-2 | H35　2Q |  |
| 課題2 | MS2-1 | H32　1Q  |  |
|  | MS2-2 | H35　3Q |  |
| 課題3 | MS3-1 | H31　3Q |  |
|  | MS3-2 | H33　4Q |  |
|  | MS3-3 | H35　4Q |  |
| ･･･ | ･･･ |  |  |

※　時期は四半期程度の目安としてください。

※　なお、研究開発の進捗状況、国内外の研究開発動向に応じて変更することは可能とします。

## （様式5）提案書【資金計画】

**資金計画**

**1．全体資金計画**

※　研究開発費、調査推進費、委託研究開発費、民間資金総額は直接経費、間接経費の合計金額を指します。

［単位：千円］

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | FSフェーズ | 本格実施フェーズ |
| 内容　　　　　年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 平成32年度 | 平成33年度 | 平成34年度 | 平成35年度 |
| 研究開発費（a） | 000,000 | 000,000 | 000,000 | 000,000 | 000,000 | 000,000 |
| 調査推進費（b） | 00,000 | 00,000 | 00,000 | 00,000 | 00,000 | 000,000 |
| 委託研究開発費合計（X）=（a）+（b） | 000,000 | 000,000 | 000,000 | 000,000 | 000,000 | 000,000 |
| 民間資金総額（Y） | 000,000 | 000,000 | 000,000 | 000,000 | 000,000 | 000,000 |
| 合計（X+Y） | 000,000 | 000,000 | 000,000 | 000,000 | 000,000 | 0,000,000 |

※　民間資金総額（Y）は、研究開発費（a）と同額以上である必要があります。

※　研究開発費（a）の上限は、FSフェーズでは25百万円／年度（間接経費含む）、本格実施フェーズでは150百万円／年度（間接経費含む）の予定です。

※　調査推進費（b）は、FSフェーズではそれぞれ5百万円／年度（間接経費含む）、本格実施フェーズでは20百万円／年度（間接経費含む）の予定です。

**2．委託研究開発費**

※　幹事機関以外の大学等が参画される場合は、項目（1）を記載してください。参画がない場合は、幹事機関のみ記載してください。

（1）大学等機関別の研究開発費

［単位：千円］

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | FSフェーズ | 本格実施フェーズ |
| 内容　　　　　年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 平成32年度 | 平成33年度 | 平成34年度 | 平成35年度 |
| ○○大学 | 00,000 | 00,000 | 00,000 | 00,000 | 00,000 | 000,000 |
| □□研究所 | 00,000 | 00,000 | 00,000 | 00,000 | 00,000 | 000,000 |
| ・・・ | 00,000 | 00,000 | 00,000 | 00,000 | 00,000 | 000,000 |
| 合計（a） | 000,000 | 000,000 | 000,000 | 000,000 | 000,000 | 0,000,000 |

※　必要に応じて行を増減してください。

※　各機関の研究開発費は、直接経費、間接経費の合計としてください。

※　合計（a）は上記、全体資金計画表の研究開発費（a）と同額としてください。

（2）費目別の研究開発費

［単位：千円］

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | FSフェーズ | 本格実施フェーズ |
| 費目　　　　　年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 平成32年度 | 平成33年度 | 平成34年度 | 平成35年度 |
| Ⅰ物品費（設備備品費） | 00,000 | 00,000 | 00,000 | 00,000 | 00,000 | 000,000 |
| Ⅰ物品費（消耗品費） | 00,000 | 00,000 | 00,000 | 00,000 | 00,000 | 00,000 |
| Ⅱ人件費・謝金 | 00,000 | 00,000 | 00,000 | 00,000 | 00,000 | 00,000 |
| Ⅲ旅費 | 00,000 | 00,000 | 00,000 | 00,000 | 00,000 | 00,000 |
| Ⅳその他 | 00,000 | 00,000 | 00,000 | 00,000 | 00,000 | 00,000 |
| 直接経費計（Ⅰ～Ⅳの合計） | 00,000 | 00,000 | 00,000 | 00,000 | 00,000 | 00,000 |
| 間接経費計 | 00,000 | 00,000 | 00,000 | 00,000 | 00,000 | 00,000 |
| 合計（a） | 000,000 | 000,000 | 000,000 | 000,000 | 000,000 | 0,000,000 |

※　幹事機関及び大学等の合計を記載してください。

※　合計（a）は上記、全体資金計画表の研究開発費（a）と同額としてください。

※　研究開発が前倒しで進捗できるよう、必要であることが明らかである物品等は早めに整備する計画としてください。

○購入予定の主要設備（1件13,000千円以上、機器名、概算価格、調達時期)

・～測定装置（15,000千円、H29）

・～測定装置（15,000千円、H29）

（3）費目別の調査推進費

**（幹事機関：○○大学）**

［単位：千円］

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | FSフェーズ | 本格実施フェーズ |
| 費目　　　　　年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 平成32年度 | 平成33年度 | 平成34年度 | 平成35年度 |
| Ⅰ物品費（設備備品費） | 00,000 | 00,000 | 00,000 | 00,000 | 00,000 | 000,000 |
| Ⅰ物品費（消耗品費） | 00,000 | 00,000 | 00,000 | 00,000 | 00,000 | 00,000 |
| Ⅱ人件費・謝金 | 00,000 | 00,000 | 00,000 | 00,000 | 00,000 | 00,000 |
| Ⅲ旅費 | 00,000 | 00,000 | 00,000 | 00,000 | 00,000 | 00,000 |
| Ⅳその他 | 00,000 | 00,000 | 00,000 | 00,000 | 00,000 | 00,000 |
| 直接経費計（Ⅰ～Ⅳの合計） | 00,000 | 00,000 | 00,000 | 00,000 | 00,000 | 00,000 |
| 間接経費計（30％） | 00,000 | 00,000 | 00,000 | 00,000 | 00,000 | 00,000 |
| 合計（b） | 000,000 | 000,000 | 000,000 | 000,000 | 000,000 | 0,000,000 |

※　共創コンソーシアムの知財管理・契約管理や民間資金の受入促進活動等を行うために必要な人件費を支出することはできません。ただし、シナリオの最適化や非競争領域における詳細な研究開発の企画等に関する人件費は、事前にJSTに相談の上、妥当な理由がある場合には支出可能です。

※　間接経費率は30%を上限としてください。間接経費率は、原則各年度内で同一とします。30%未満の場合は、当該記載を変更してください。

**3．民間資金**

［単位：千円］　上段：共同研究費等　下段：リソース提供

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | FSフェーズ | 本格実施フェーズ |
| 内容　　　　　年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 平成32年度 | 平成33年度 | 平成34年度 | 平成35年度 |
| （株）○○○ | 000,000 | 000,000 | 000,000 | 000,000 | 000,000 | 000,000 |
| 000,000 | 000,000 | 000,000 | 000,000 | 000,000 | 000,000 |
| （株）□□□ |  | 000,000 | 000,000 | 000,000 | 000,000 | 000,000 |
|  | 000,000 | 000,000 | 000,000 | 000,000 | 000,000 |
| △△△△△△△（株） |  | 000,000 | 000,000 | 000,000 | 000,000 |  |
|  | 000,000 | 000,000 | 000,000 | 000,000 |  |
| ○○（株）（調整中） |  |  | 000,000 | 000,000 | 000,000 | 000,000 |
|  |  | 000,000 | 000,000 | 000,000 | 000,000 |
| ・・・ |  | 000,000 | 000,000 | 000,000 | 000,000 | 000,000 |
|  | 000,000 | 000,000 | 000,000 | 000,000 | 000,000 |
| 合計（Y） | 000,000 | 00,000 | 000,000 | 000,000 | 00,000 | 000,000 |
| 000,000 | 000,000 | 000,000 | 000,000 | 000,000 | 000,000 |

※　民間資金総額（Y）は、「1．全体資金計画表」の民間資金総額（Y）と同じ額です。

※　調整中の企業がある場合は、（調整中）と記載してください。

○主なリソース提供（名称・件名、概算価格、執行・調達予定時期、提供企業)

物品費：

・～測定装置（15,000千円、H29、（株）○○○）

人件費：

・自社内研究開発要員　○人（○○千円、H28～H32、（株）○○○）

## （様式6）提案書【領域統括データ】

**領域統括データ**

※　本記載は1ページ以内で作成してください。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏名 |  | 生年月日 | 19yy年00月00日 | 性別 | 男・女 |
| 所属機関部署・役職 | 幹事機関名○○研究科　教授 |
| 最終学歴 | 19yy年○月　○○大学大学院　○○研究科　○○課程　修了 |
| 専門分野 |  |
| 本提案に関係する研究開発の経歴 |  |
| 過去の産学共同研究開発の実績 | ※【他事業の受給・申請状況】以外の、国、独立行政法人、公益法人等の助成金に依らない産学共同研究の実績がありましたら記載してください（直近の一例で結構です。）（記載例）研究期間：2013年5月～2015年3月共同研究企業：○○株式会社（秘密保持等で明示できない場合には「A社」でも結構です。）企業側研究費（研究期間総額）：2,000万円 |

## （様式7）提案書【民間企業に関する情報】

**民間企業に関する情報**

※　提案者となる各民間企業については、以下のとおり概要を記載してください。大学等については不要です。

※　1社あたり1ページ以内で作成してください。

※　適宜ページを追加してください。

※　業種、研究開発分野は、公募要領の「企業の業種表及び研究開発分野表」より主な１つをご記入ください。

※　プロジェクト実施期間中に新たに参画する民間企業についても同様に提出していただきます。

|  |
| --- |
| 2018年00月00日 現在 |
| 企業名 | **株式会社　○○○○** |
| ホームページ | http:// |
| 設立年月 | 0000年0月 | 上場 | 有(0000年00月)･無 |
| 本社所在地 | ○○県○○市○○町○丁目○番○号 |
| 工場 | 本社工場（○○市）、□□工場（□□市） |
| 研究所 | 中央研究所（○○市）、□□研究所（□□市） |
| 代表者名 | 代表取締役　○○○○ |
| 役員数 | 00 | 人 | ( | 00 | 人[技術系役員] | ) |
| 社員数 | 0,000 | 人 | ( | 0,000 | 人[研究開発要員] | ) |
| 資本金 | 0,000 | 百万円 |
| 主要株主 | ○○○○（　　％）、□□□□（　　％）、△△△△（　　％） |
| 主要取引銀行 | ○○銀行△△支店、□□銀行▽▽支店 |
| 主要関係会社 | 株式会社　○○○○（販売会社） |
| JST等との関係 | JST又は官公庁、独立行政法人、公益法人等から受託研究、補助金等の実績があれば、主なものについて記入してください。（配分機関、事業・制度名、実施期間等） |
| 事業内容 | ○○○○、□□□□の製造及び販売、△△△△の受託研究開発 |
| 研究開発能力 | 業種 | 業種表から選択（主な１つ） | 研究開発分野 | 研究開発分野表から選択（主な１つ） |
| 記入例）　□□研究所、▽▽㈱とも協力関係を築いており、本年度も☆☆☆☆の研究開発を実施している。（…等、研究開発の実施能力を示す事柄を記述してください。） |
| 研究開発実績 | 記入例）　平成☆年、独自に○○○○を開発し製造販売している。また、◎◎◎◎について□□大学△△教授の協力を得て研究・開発を実施、企業化の目処が立ち、来年には販売開始予定である。（…等、主な実績を記述してください。箇条書きで結構です。） |

## （様式8）提案書【他事業の受給・申請状況】

**他事業の受給・申請状況**

※　領域統括、研究開発課題代表者及び研究開発責任者が、現在受けている、あるいは申請中・申請予定の国の競争的資金制度やその他の研究助成等制度での助成等について、制度名ごとに、研究課題名、研究期間、役割、本人受給研究費の額、エフォート等を記載してください。

※　記入内容が事実と異なる場合には、採択されても後日取り消しとなる場合があります。

＜ご注意＞

※　現在申請中・申請予定の研究助成等について、本提案の選考中にその採否等が判明するなど、本様式に記載の内容に変更が生じた際は、本様式を修正の上、本公募のお問い合わせ先まで電子メールで連絡してください。

1．領域統括

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 制度名 | 研究開発課題名（代表者氏名） | 研究期間(開始年月～終了年月) | 役割(代表/分担) | (1)本人受給研究費(期間全体）(2) 〃 (H30年度予定）(3) 〃 (H31年度予定）(4) 〃 (H32年度予定） | ｴﾌｫｰﾄ |
|  |  | H26.10～H31.9 | 代表 | (1) | 125,000千円 | % |
| (2) | 25,000千円 | % |
| (3) | 25,000千円 | % |
| (4) | 0千円* 現在受けている、または採択が決定している助成等について、本人受給研究費（期間全体）が多い順に記載してください。その後に、申請中・申請予定の助成等を記載してください（「制度名」の欄に「（申請中）」などと明記してください）。
* 「役割」は、代表または分担等を記載してください。
* 「本人受給研究費」は、**ご本人が受給している金額（直接経費）**を記載してください。
* 「エフォート」は、当該研究者の「全仕事時間に対する当該研究の実施に必要とする時間の配分割合」となります。なお、この「全仕事時間」には、研究活動にかかる時間のみならず、教育活動や管理業務等にかかる時間が含まれます。
* 申請中のものは採択された場合のエフォートを記載してください。
* 必要に応じて行を増減してください。
 | % |
|  |  | ～ |  | (1) | 千円 | % |
| (2) | 千円 | % |
| (3) | 千円 | % |
| (4) | 千円 | % |
|  |  | ～ |  | (1) | 千円 | % |
| (2) | 千円 | % |
| (3) | 千円 | % |
| (4) | 千円 | % |

2．研究開発課題代表者①：氏名

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 制度名 | 研究開発課題名（代表者氏名） | 研究期間(開始年月～終了年月) | 役割(代表/分担) | (1)本人受給研究費(期間全体）(2) 〃 (H30年度予定）(3) 〃 (H31年度予定）(4) 〃 (H32年度予定） | ｴﾌｫｰﾄ |
|  |  | ～ | 分担 | (1) | 千円 | % |
| (2) | 千円 | % |
| (3) | 千円 | % |
| (4) | 千円 | % |
|  |  | ～ |  | (1) | 千円 | % |
| (2) | 千円 | % |
| (3) | 千円 | % |
| (4) | 千円 | % |
|  |  | ～ |  | (1) | 千円 | % |
| (2) | 千円 | % |
| (3) | 千円 | % |
| (4) | 千円 | % |

3．研究開発課題代表者②：氏名

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 制度名 | 研究開発課題名（代表者氏名） | 研究期間(開始年月～終了年月) | 役割(代表/分担) | (1)本人受給研究費(期間全体）(2) 〃 (H30年度予定）(3) 〃 (H31年度予定）(4) 〃 (H32年度予定） | ｴﾌｫｰﾄ |
|  |  | ～ |  | (1) | 千円 | % |
| (2) | 千円 | % |
| (3) | 千円 | % |
| (4) | 千円 | % |
|  |  | ～ |  | (1) | 千円 | % |
| (2) | 千円 | % |
| (3) | 千円 | % |
| (4) | 千円 | % |
|  |  | ～ |  | (1) | 千円 | % |
| (2) | 千円 | % |
| (3) | 千円 | % |
| (4) | 千円 | % |

4．研究開発責任者：氏名

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 制度名 | 研究開発課題名（代表者氏名） | 研究期間(開始年月～終了年月) | 役割(代表/分担) | (1)本人受給研究費(期間全体）(2) 〃 (H30年度予定）(3) 〃 (H31年度予定）(4) 〃 (H32年度予定） | ｴﾌｫｰﾄ |
|  |  | ～ |  | (1) | 千円 | % |
| (2) | 千円 | % |
| (3) | 千円 | % |
| (4) | 千円 | % |
|  |  | ～ |  | (1) | 千円 | % |
| (2) | 千円 | % |
| (3) | 千円 | % |
| (4) | 千円 | % |
|  |  | ～ |  | (1) | 千円 | % |
| (2) | 千円 | % |
| (3) | 千円 | % |
| (4) | 千円 | % |

※　必要に応じて、表を増減してください。

## （様式9）提案書【特許リスト・論文リスト】

**特許リスト**

※　本提案と関連する研究開発成果として特許（本提案の参加者が発明者になっている特許に限る）が含まれる場合は、重要な順に5件以内を、以下について記載してください。

※　必要に応じて表を追加してください。

**○出願特許1**

|  |  |
| --- | --- |
| ①発明の名称 |  |
| ②出願番号・特許番号 |  |
| ③出願日 |  |
| ④発明者（全員記載のこと） |  |
| ⑤出願人（全員記載のこと） |  |
| ⑥実施・実施許諾の状況 |  |
| ⑦PCT出願・海外出願の有無  |  |
| ⑧分類　※1 | A：新しい原理や現象の発見に基づく研究成果に係わる特許 |
| ⑨競合・類似技術の状況 （200字以内でまとめてください） | ※「競合・類似技術は存在しない」、「これまでにない初めての技術」等のコメントは不可。必ず、他の技術と比較しコメントを記載してください。 |
| ⑩競合・類似技術に対する優位性（200字以内でまとめてください） | ※必ず、他の技術と比較し優位性に関するコメントを記載してください。 |
| ⑪技術・システム革新シナリオへの寄与（200字以内でまとめてください） | ※シナリオで設定する新たな価値やキーテクノロジーとの関連性について記載してください。 |

※1　以下に該当する内容を1つだけ記載してください。

A：新しい原理や現象の発見に基づく研究成果に係わる特許

B：機能性新規物質についての研究成果に係わる特許

C：新規プロセス・方法に関する研究成果に係わる特許

D：新規メカニズム・システムに関する研究成果に係わる特許

**論文リスト**

※　本提案と関連する論文等（本提案の参加者が著者になっている論文に限る）がある場合は、重要な順に5件以内を、以下について記載してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 1 | タイトル： |  |
| 掲載先： |  |
| 著者名： |  |
| ※200字以内で概要を記載してください。 |
| 2 | タイトル： |  |
| 掲載先： |  |
| 著者名： |  |
|  |
| 3 | タイトル： |  |
| 掲載先： |  |
| 著者名： |  |
|  |
| 4 | タイトル： |  |
| 掲載先： |  |
| 著者名： |  |
|  |
| 5 | タイトル： |  |
| 掲載先： |  |
| 著者名： |  |
|  |

## （様式10）提案書【倫理面への配慮】

**倫理面への配慮**

※　組換えＤＮＡ実験、遺伝子治療臨床研究、特定胚を取り扱う研究、ヒトＥＳ細胞の研究、ヒトゲノム・遺伝子解析研究、疫学研究、臨床研究に該当する研究を計画している場合、法令・指針等に基づく適切な措置が講じられているか、倫理面・安全面において問題はないか等について判断するためのものです。

以下の事項について１ページで記入してください。

（１）　提案する研究領域の内容が、上記の研究に該当するとの疑義を受ける恐れがある場合、又これらに関連する研究が計画されている場合は、各指針等との関係、倫理面・安全の確保面において講じるべき措置と対応状況、特に問題がないと判断した場合には、その理由等について具体的に記入してください。

（２）　動物その他を用いる計画がされている場合は、各指針等に基づく国の確認等の適合状況、動物等を科学上の利用に供する場合の配慮状況、特に問題がないと判断した場合には、その理由等について具体的に記入してください。

※　該当がない場合も、その旨を記入してください。

## （様式11）提案書【特殊用語等の説明】

**特殊用語等の説明**

|  |  |
| --- | --- |
| **用語** | **説明** |
| ※提案書で使用している業界用語、専門用語及び略語等の特殊用語のうち、研究開発を総合的に把握するうえで必要と思われる用語について、わかりやすく簡単に解説を記入してください。※必要に応じて行を追加してください。 |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |